

環境保全と自然共生社会の構築

(1) 環境負荷物質の低減

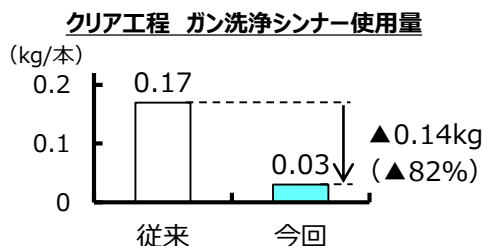
原材料・部品等のお取引先様と連携し、環境負荷物質の使用把握とリスクを評価し、より環境負荷の少ない物質への転換や使用量の低減に取り組んでいます。生産活動における大気への環境負荷を下げるため、水性塗料の採用拡大や塗料使用量の低減に努めることによりVOC ※の低減を推進しています。

※ VOC (Volatile Organic Compounds)

： 塗料や接着剤などに含まれる「揮発性有機化合物」の総称

【吉原工場 バンパー塗装 洗浄シンナー低減】

塗料メーカーごとに異なっていたクリア塗料を統合することで、塗料変更時の塗装ガンのシンナー洗浄を廃止しました。また、塗装ガンの汚れ防止のための洗浄条件を研究し、洗浄シンナー使用量を低減しました。



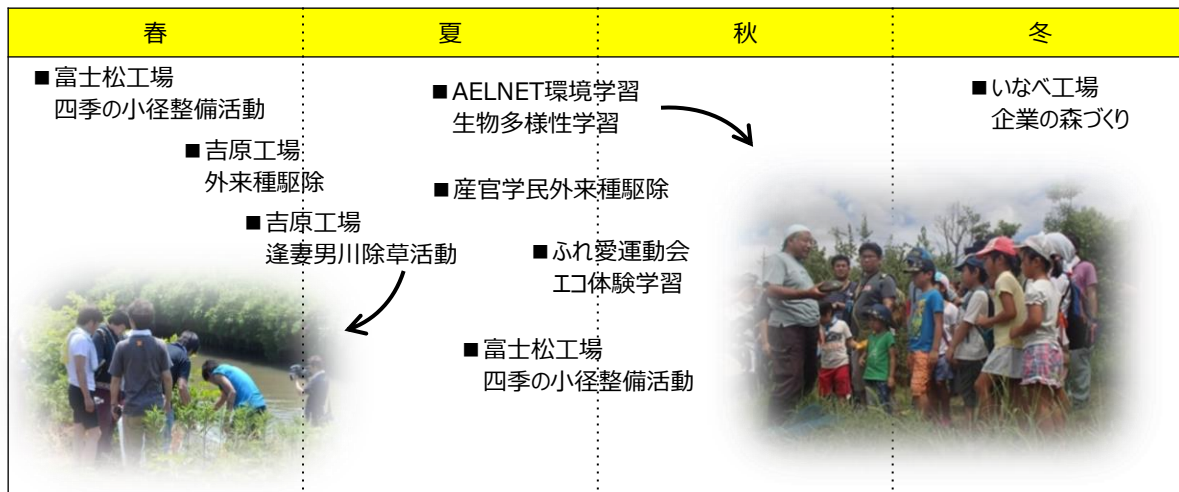
(2) 地域と共生、自然と調和する工場づくりの推進

人と自然が共生、地域の環境を維持するため様々な活動の輪を上げながら自然と調和する工場づくりにグローバルに取り組んでいます。

【生物多様性保全を通じた地域とつながる人づくり】

当社が運営している「刈谷ふれ愛パーク」を活用し、地域と連携した生物多様性保全活動・環境学習を推進しています。また周辺地域の河川整備や企業の森づくりで森林整備などを実施しています。

<主な取組み>



【海外拠点での活動】

インドネシアの連結会社は地域住民と協力し植樹活動や環境学習を実施しています。またマレーシアの連結会社でも従業員家族による植樹活動を開始しました。

